

## 自己改革の取り組みについて

これまでも、これからも、地域とともに  
JA庄原は総合事業を展開します

1. 農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化に取り組みます。
2. このため、協同組合の原点に立ち、組合員の皆さんとの話し合いを深めます。
3. そして「総合事業」の強みを活かし、地域にとってなくてはならない組織であり続けます。

協同組合とは、組合員の一人ひとりが力をあわせ、みんなの願いをかなえていく組織です。

JAは、農業者（正組合員）が組織する協同組合です。

農業者の営農と生活を支えるため、様々な事業を総合的に展開しています。農業者の所得向上や地域農業の振興を目的に、農産物の販売や、信用事業（JAバンク）、共済事業（JA共済）、福祉事業などの様々な事業を、営農相談やくらしの相談活動を通じて、総合的に結びつけ、地域農業の振興や地域づくりに取り組んでいます。

また、農業者以外の地域で暮らす方々にも准組合員として加入していただき、JAの様々な事業を利用いただくとともに、正組合員と共に地域農業の発展や地域づくりに関わっていただいています。

JAは、信用事業や共済事業などを含めた総合事業を行うことにより、組合員・地域住民の期待に応えるとともに、経営収支の確保による経営基盤の安定を図り、営農指導員の配置や農業施設への投資を行っています。

具体的な取り組みについては、別冊の中期計画・営農振興計画や自己改革工程表をご覧ください。